

府養研ニュース

2004年1月号

このページでは要点だけをお知らせしています。
詳細は、本ページのリンクをクリックください。新しいウィンドウでPDFファイルが開きます。
また、ホームページからも同じ記事が読めます。ホームページには一括印刷版もあります。
ただし、ホームページへのアップは発行の一日後となります。
<http://www012.upp.so-net.ne.jp/tamtam/>

府養研ニュースは各種案内等の事務連絡と一緒に、毎月第1月曜日にEメールで配布されています。第1月曜が祝日であれば火曜日発行になります。今月1月号は、5日がお正月でしたので、1月13日(火)発行でした。来月2月号は2月2日発行です。
一部メール網がまだ整備中もしくは検討中の市町村は、郵送または逡送されています。

平成16年1月13日発行 大阪府養護教育研究会(広報部)
事務局 堺市立茶山台小学校 会長 本郷 くみ 〒590-0115 堺市茶山台2-5-1
問い合わせ・ご意見は、Mailで 府養研役員宛 fuyouken-owner@egroups.co.jp

研修部より

●テーマ別研修会 報告	行動に様々な問題を示す子どもたちの理解と援助 Q& A 12月25日 午後2時～4時半 八尾プリズムホール
----------------	--

研究部より

●講演会予告 案内はこちら	「高機能自閉症、アスペルガー症候群といわれる子どもへの理解と支援」 田中康夫先生 (国立精神神経センター精神保健研究所児童思春期精神保健部) 平成16年2月24日(火)午後2時～午後5時 イコーラムホール(東大阪市 近鉄若江岩田駅)
●Webページ紹介	石川県立七尾養護学校 神佐先生 京都府立中丹養護学校 平井先生の ホームページ紹介

本部より

支援費制度って知っていますか？

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/syakai/sienhi/>
ご存じない方、詳しく知りたい方はここへ

予告 ケアマネージメント講習会をまたやります。ご期待下さい。

各支部から

○三島

・三島地区養研主催 中学校卓球大会が 11月13日(木)に行われました。本文記事

○中河内

・中河内中学生スポーツ大会記事訂正

樟蔭東高等学校から学生ボランティアで応援いただきました。

・東大阪市養研LD講演会 12月10日(水) 竹田契一氏 イコーラムホール

情報提供 他団体の講演です

自閉症コーナー

服巻智子さんの講演 平成16年2月3日 高槻現代劇場 10時～12時(保護者向け)
「自閉症の正しい理解と支援を深めるために…」 [案内はこちら](#)

「TEACCHカンファレンス イン 大阪」2004年2月7日(土)～8日(日)にメルパルクホールで
参加費は、会員8000円、その他10000円です。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/atoz3/ask/conference.html>

大阪知的障害自立活動研究会
大阪肢体不自由自立活動研究会
第24回「自立活動」教育講演会

平成16年3月6日
大阪国際交流センター
香川大学 中邑賢龍先生
「AACとe-ATの最先端」

先月号の訂正(たくさんあります。ごめんなさい)

中河内のページ 樟蔭高等学校(誤) >> 樟蔭東高等学校(正)

マウス改造講座参加記 長澤靖浩氏 著者名の間違い

今回紹介の神佐 博先生の学校名がリンク集で間違っておりました。
今月号の記事のが正しい校名です。富山県立(誤)>石川県立(正)

各部より

研修部

テーマ別研修会の報告

府下の障害教育に関わる先生方から、日頃の指導に関わる疑問や悩みを相談できる機会が欲しいとのご要望に応え、本年も課題別（テーマ別）研修会が、平成15年12月25日（木）八尾市文化会館（プリズムホール）で行われました。百数十人の参加があり、たいへん好評でした。以下に参加者のアンケートと研修会の写真を紹介します。

<p>ADHDといわれる子どもたちの理解と対応</p> <p>医学的な視点での分析を聞かせていただいて、とてもよくなりました。新たなものが見えてきたようで、ほんとうにためになりました。私は個人的に薬に依存したくないという気持ちがありました。本人の益になる使い方なら納得できました。医療機関にかかるのを嫌がる親はそれでもいい、と私自身考えていましたが、これが子どもの不利益に現になっていると知り、これは良くないと考え直しました。どうもありがとうございました。</p>	<p>安原昭博先生</p> 
<p>LDと言われる子どもたちの理解と対応</p> <p>今日はありがとうございました。分かる - 認知するところで体験学習があり、事例をあげてお話いただいたのでとても分かり易かったです。体験のところでカタカナの字がなかなか見つからなかったとき、子どもの気持ちを体験しました。</p>	<p>米田和子先生</p> 
<p>行動障害（問題行動）を示す子どもたちの理解と対応</p> <p>大変分かりやすく参考になりました。すぐに役立つ方法をたくさん教えていただきました。自分の実践を細かく具体的に分析してみることが大事なんですね。プランニングの壁と実践の壁、考えつつやっていたいと思いました。通常の学級の担任の先生のご苦労もよく伝わりました。先生が楽しそうにプランニングされているのがこちらにも伝わって楽しい気分になりました。</p>	<p>井上雅彦先生</p> 

<p>自閉傾向を示す子どもたちの理解と対応</p> <p>研究会や本によってかなり学習してきましたが実践を聞くことによって毎日の生活の中で対応のまずさを痛感します。わかっているつもりでも発してはいけない言葉を投げつけています。今日のお話を聞かせていただいて再度ひとつひとつの行動をきちんと把握し、具体的視覚的に指示することの大切さを心にきざみました。</p>	<p>金井孝明先生</p> 
<p>肢体不自由の子どもたちの理解と対応</p> <p>専門的な立場からのアドバイスはすごく参考になった。特に「何をしたいのかはっきりさせる」ことの大切さを私たちはクールに見て指示できる教師にならなくてはならないことを改めて感じさせられた。</p>	<p>淡路一裕先生</p> 
<p>性に関する課題のある子どもたちの理解と対応</p> <p>経験豊富なお話を聞いて本当に参考になりました。小さい頃からの生活習慣がとても大切なのだと思ひきまりました。大人になっての社会生活をする基本が性教育だということも分かりました。本当にありがとうございました。</p>	<p>中村昭代先生 大橋一予先生</p> 

昨年は府養研50周年記念大会の中で、今日的な課題についての分科会を設定しましたが、今年度は新しいテーマも加えて、一昨年度に引き続き『テーマ別研修会』を計画致しましたが、どうだったでしょうか？ 助言の先生方のお話をお聞きしながら日頃悩んだり困ったりしていることを出し合えたと思います。

養護学級担任の先生方だけでなく通常の学級の先生、その他の関係者の方もご参加いただけていました。

平成16年(2004年)1月15日

学 校 長 様
養護教育関係者 様

大阪府養護教育研究会
会 長 本郷 くみ

研究部講演会ご案内

新春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本研究会に格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。さて、研究部による講演会を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

LD、AD/HD、高機能自閉症等を含めすべての障害のある子どもについて一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行う「特別支援教育」が始まろうとしています。そこで、研究部では、LD、AD/HDについての研修会を行ってきましたが、特に参加者より質問の多かった高機能自閉症、アスペルガー症候群についての講演会を開催することに致しました。

つきましては、貴校の養護学級担任を始め教職員の方々にも是非、参加いただけますようによろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 平成16年2月24日(火)午後2時～午後5時
(受付は1時30分より)
2. 会 場 イコーラムホール(東大阪市男女共同参画センター)
近鉄奈良線若江岩田駅前「希来里」6階 0729-60-9201
3. 内 容 講演「高機能自閉症、アスペルガー症候群といわれる子どもへの理解と支援」
国立精神神経センター 精神保健研究所
児童思春期精神保健部 田中 康雄 先生
4. 定 員 当日先着250人(申し込みは不要)
5. 連絡先 研究部部长 大山説子 東大阪市立成和小学校
06-6745-2361 FAX06-6745-5490

ICT 活用 Web 散策

今回は、すぐに使えるソフトのページとして、石川県立七尾養護学校の神佐先生と京都府立中丹養護学校の平井先生のサイトの紹介です。

KanzaSoft2003 <http://www5.nsk.ne.jp/~h-kanza/>

石川県立七尾養護学校の神佐先生が、Flash MX で作成され、実際に授業で使われているソフトを数多く掲載されています。セカンドホーム（もう一つのホームページと「KanzaSoft2004 の Library」にも数多くあります。

「とにかくまず開けていろいろなソフトを試してみてください。」と紹介することがもっともふさわしいサイトです。楽しんでいるうちに、自分の目の前にいる子どもたちの顔が浮かんでくるソフト、「これはこの子に使える」と思えるソフト、「こんなのを探してたんだ」とうれしくなるソフト、……などなど。このサイトに掲載されているソフトの中に MES2003 自作教材集 CD-ROM に収録されているものがあります。7 月 3 日の MES2003 を実際に使った ICT 活用研究会でも神佐先生のソフトに、上記の声が参加者から聞こえ、楽しそうにいろいろなソフトを試している姿がありました。

このサイトのソフトの特徴は、Web 上で体験できることです。その為、いろいろなソフトが簡単に使うことができます。これも大変うれしいことです。

また、Flash MX をつかっての学習ソフト作成方法についての解説もあり、Flash MX を使ってソフトを作ろうと考えておられておられる方の参考にもなるでしょう。

平井先生のホームページ <http://www11.ocn.ne.jp/~s.hirai/pc101/indexframe.htm>

教材ソフト、支援機器、リンク集などが充実したサイトです。メニューの中からいくつかを紹介します。

「支援機器の情報(ソフト)」のページには、自作ソフトや授業で使えるフリーソフト(無料)やダウンロードサイトが紹介されています。

「自分の気持ちは」というコミュニケーション支援ソフトは、パワーポイントで自作されています。マウスで扱うものとオートスキャンのもののが用意されています。子どもたちに合わせて使い分けすることができます。パワーポイントでこんなことができるんだ、と思えるソフトですので、子どもたちに使うだけではなく、実際に自分も作ってみよう、と言う人にも参考になると思います。なお、パワーポイントを持ってなくても PowerPoint Viewer 97 をダウンロード(無料)することで使うことができます。

「障害児教育支援機器の情報(ハード)」には、スイッチ関係などのハード面の情報が写真を交えて紹介されています。

「授業研究」のページでは、写真を交え、実際に授業でこういうものをこうつかっている、と言う紹介がされています。読んでみるとヒントになるものが見つかるのではないのでしょうか。

なお、平井先生のホームページは、

「ヒライポッターのホグワーツ中丹だより」(<http://www11.ocn.ne.jp/~s.hirai/>)ですが、平井先生に許可をいただいて、本ページを紹介させていただきました。

三島支部より

楽しかった卓球大会

去る11月13日(木)、三島地区小・中・養護学校養護教育研究会(大阪府養護教育研究会三島支部)主催の中学校卓球大会が茨木市民体育館で開かれました。

この卓球大会は、本研究会の年間行事の中でも最大のものであり、高等部3年の生徒が生まれる前から毎年催されている歴史ある行事で今年も養護学校3校、中学校19校から計103名の生徒が参加してくれました。



また、この大会は平素、三島地区各市町の養護学校、養護学級で頑張っている障害のある生徒たちが年に一度一同に会して卓球を通じて交流をするとても意義深いものです。

この大会の趣旨をさらに広めるため、昨年度からは高等部と中学校を分けることによって、中学生が賞状を取りやすくするなど、改善も重ねてきました。

開会式では、会長から日頃から養護学級や体育の時間、あるいはクラブで磨いている卓球の腕前を遺憾なく発揮して欲しい、試合の合間には他校の生徒とも話をし、友達になって欲しい、などの挨拶がありました。その後、試合に入りましたが、各台とも熱戦が繰り広げられました。参加者の中には、卓球のルールが十分に理解できていない生徒から、ラリーはもちろん、するどいスマッシュを打つ生徒までいて技量は多彩でしたが、いずれも和気あいの雰囲気で試合が行われました。

試合中は同じ学校の友だち、保護者の方々、引率の先生や中には校長先生、教頭先生などのギャラリーが熱心に応援をし、一球一打に歓声があがり、とても盛り上がりました。試合が終わって生徒同士が握手したり話し合ったりする場面、また、養護学校高等部に行っている生徒が、久しぶりに中学校の先生と再会し、感激している場面、我が子の勝利に飛び上がって喜ぶ保護者の姿もありました。

負けて悔し泣きをする生徒もいましたが、勝負ですから必ず勝者と敗者に別れます。勝つ喜びを味わうことも、負ける悔しさを味わうことも、生徒たちにとってはとても貴重な体験でした。

終盤の決勝戦あたりになると、さすがにレベルの高い試合の連続で、1時半に開始された大会はあっという間に3時間が過ぎ、閉会式の時刻になってしまいました。3位までに入って表彰された生徒たちは現地での表彰とは別に、各



学校に帰って自分の学校の校長先生から、全校生徒の前で改めて表彰状とメダルを受けるのを楽しみにしていました。主催者としては、この表彰状が今後の人生を生きていく上で大きな自信につながってくれたらと願っています。

このように、今年の大会も所期の目的を十分に果たすことが出来、参加者一同、入賞した人はもちろん1回戦で敗退した人も、さわやかな顔つきで帰路につきました。

(文責 大阪府養護教育研究会三島支部長 村井俊二)

中河内支部より

府養研中河内支部中学生スポーツ大会 訂正版

11月11日、東大阪市東体育館で実施された、スポーツ大会は、東大阪市八尾市柏原市の3市の養護学級、養護学校の中学生が集い、卓球やボーリングを楽しみます。ボーリングでは、傾斜台を使うコーナーもあるなど、個々の子どもの実態にあわせた工夫があります。どの子も一所懸命参加していました。午後は先生や保護者も交えて、玉入れやパラバルーンを楽しみました。



樟蔭東高等学校の学生さんたちがボランティアで協力してくれました。ひとりひとりの子どもへの細やかな対応がありがたかったです。子どもたち、ボランティアの双方の思い出に残る良い交流ができて良かったと感じました。(ボランティア学生さんの校名が間違っていましたので、再掲載いたしました。)

東大阪市養護教育研究会LD講演会

12月10日(水)、イコーラムホールにて、上記講演会が行われました。竹田契一先生が講師で、AD/HD、LD、高機能自閉症、アスペルガー症候群等の軽度といわれる子どもたちについて語られました。基礎的な知識から始まり、実際の困難さを疑似体験したり、教育現場の中で、どのような支援ができるかとか、どのように連携していけるかなどの実戦的な話でした。



市町村教育委員会教育長様
 福祉事務所所長様
 健康福祉サービス課長様
 盲・聾・養護学校長様
 小・中学校長様
 関係諸機関様
 各会員様

主催 大阪知的障害自立活動研究会
 大阪肢体不自由自立活動研究会
 後援 大阪府教育委員会
 大阪市教育委員会

第24回「自立活動」教育講演会のご案内

この度、下記の要領で第24回「自立活動教育講演会」を開催するはこびとなりました。今回は、香川大学の中邑賢龍先生に「AACとe-ATの最先端」という演題でご講演いただくことになりました。

自立を自己決定と考えるなら、何らかの手段で相手に自分の意思を伝えるコミュニケーションの確立こそが障害のある児童生徒に与えられた優先課題となってきています。この講演ではコミュニケーションの課題について講演していただきます。コミュニケーション確保の方法についての研究領域であるAAC(拡大代替コミュニケーション)、e-AT(電子支援技術)について理解を深めるとともに、電子機器を用いた生活支援技術についても話していただけることと思います。

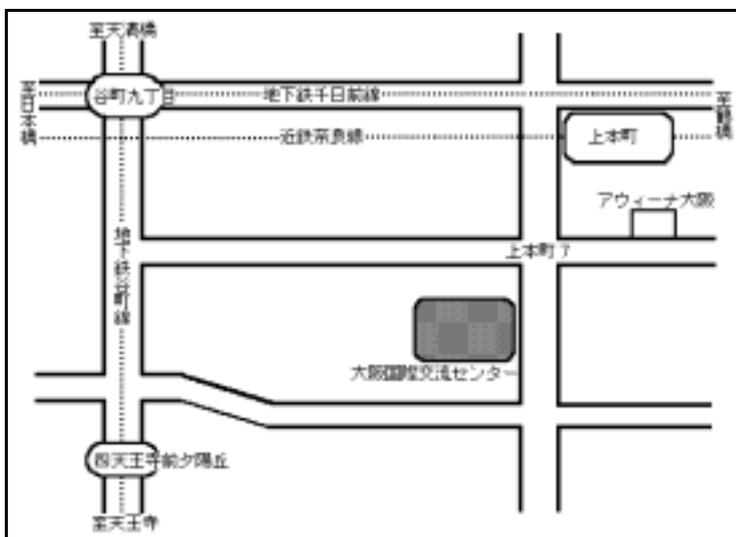
先生の実践と活動の中から意義深い示唆を得られるものと思います。関係の方々はふるってご参加いただきますようご案内申し上げます。

大阪知的障害自立活動研究会 会長 那須信男
 大阪肢体不自由自立活動研究会 会長 竹内裕幸

記

- 1、日時 平成16年3月6日(土) 午前9時30分 受付開始
 午前10時00分～12時30分 講演
 (手話通訳あり)
- 2、場所 大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
 TEL 06-6772-5931



交通

- 地下鉄谷町線・千日前線
谷町9丁目駅8番出口から南東へ徒歩約10分
- 地下鉄谷町線 四天王寺前夕陽丘駅1番出口から北東へ徒歩約10分
- 近鉄奈良線・大阪線 上本町駅から南へ徒歩約8分

3、講演 テーマ「AAC と e-AT の最先端」
～自閉症や知的障害のある人の生活を支える様々な技術～

講師 香川大学教育学部 助教授 中邑 賢龍 氏

4、参加費 1500円 (当日受付へ)

5、申込方法 申込書により(連名可)2月20日(金)までに下記宛へお送り下さい。
(FAXでも受け付けます。電話での申込みはご遠慮下さい。)

【知的障害教育関係】
〒572-0801
寝屋川市大字寝屋2100
大阪府立寝屋川養護学校
中村 光榮(なかむら みつえ)
TEL 072-824-1024
FAX 072-824-3709

【肢体不自由教育関係】
〒562-0035
箕面市船場東3 15 1
大阪府立箕面養護学校
谷口 美津代(たにぐち みつよ)
TEL 072-728-1245
FAX 072-728-5694

6、講師紹介

中 邑 賢 龍 (なかむら けんりゅう)

(略歴) 1956年生まれ
広島大学大学院教育学研究科(実験心理学専攻)博士課程
現在：香川大学教育学部助教授

(著書) 「障害者のための小さなハイテク」(福村出版)
「こころリソースブック」(こころリソースブック出版会)
「AAC入門」(こころリソースブック出版会)

き り と り

第24回「自立活動」教育講演会参加申込書

勤務先	
所在地	
氏名	
楷書ではっきり とご記入下さい。 (連名可)	